

ここから南区版 ▶ 5~12ページ

みなみ 3月号



NO.293

目次

- みなみPick up!・連載 5・6
- 特集 7・8・9
- みなみ掲示板 10・11・12
- 福祉保健センターから 12



ウェブページから紙面をご覧ください。

感染症予防には、手洗いの徹底、マスクの着用、3密の回避など、基本的な対策が重要です。

特集1 家庭でできる、災害への備え

在宅避難が基本です!

地震が発生したら、すぐに「地域防災拠点に避難すればよい!」と思いませんか?

地域防災拠点は、地震による火災や家屋の倒壊により自宅に住めなくなった人が避難する場所です。

主に、小中学校の体育館などを利用してあり、スペースの限られた環境となるため、

自宅が無事な人は自宅で避難生活(在宅避難)を送りましょう。



住み慣れた自宅で安全・安心に避難生活を送るために 詳しくは7ページへ

連載

南図書館
だより

来ぶらり

今月のおすすめ本

テーマ サクラサク

問 南図書館 ☎ 715-7200 fax 715-7271

一般書 『桜の科学』

勝木俊雄 / 著
発行:SBクリエイティブ 書誌番号:3-0500563929

桜といえば春を代表する花ですが、実は一年中、日本のどこかで咲いているのだそうです。桜の研究者である著者が書いたこの本には、あまり知られていない桜のトピックスがたくさん詰まっています。この本を読めば、桜のことがもっと好きになりますよ。



児童書 『さくらがさくと』

とうごうなりさ / さく
発行:福音館書店 書誌番号:3-0500759607

季節の移ろいとともに表情を変える桜の木。花が咲くころは道を急ぐ人の足も止まり、ページをめくると、私たちが満開の桜の下にいるような気持ちになります。暮らしとともにある自然を柔らかく描いたこの絵本は、大岡川沿いの桜並木がモデルになっています。



8・9ページで
大岡川プロムナードの
桜を特集しているよ!

【南区役所】

〒232-0024 浦舟町2-33
☎ 341-1212(代表)

受付時間:8時45分~17時 月~金曜日(休日、祝日、年末年始を除く)

※昼の時間帯はお待たせする時間が長くなる場合があります。詳しくは職員にお尋ねください。

第2・4土曜日(9時~12時開庁)は、戸籍課・保険年金課・子ども家庭支援課で一部業務を行っています。

南区のいま (2022年2月1日現在) 区の人 197,273人 世帯数 104,405世帯

〈編集・発行〉南区役所広報相談係 ☎ 341-1112 fax 341-1241 ✉ mn-kouhou@city.yokohama.jp

人口の詳細は
こちらから



特集1

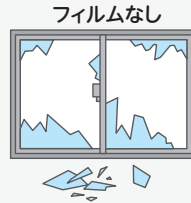
家庭でできる、災害への備え **在宅避難が基本です!**

住み慣れた自宅で安全・安心に避難生活を送るための、ポイントを確認しましょう。

☎ 防災担当 ☎ 341-1225 ☎ 241-1151

ポイント1 **家を安全にしましょう**

家具の固定器具やガラス飛散防止フィルムで対策をし、地震が収まったあとも安全に生活ができる準備をしましょう。



ポイント2 **備蓄をしましょう**

水と食料を備えましょう 備蓄する量の目安は最低3日分です!

災害が発生してからでは、水や食料の入手が難しくなります。また、災害時給水所もすぐに使用できるとは限りませんので、あらかじめ準備しておきましょう。



1人あたり3ℓ/日



大きなストレスがかかる災害時こそ、いつもと同じ食べ物を食べることが、安心や心のゆとりにつながります。

食べ慣れたレトルト食品や缶詰などを少し多めに買って置き、毎日の生活で使いながら備蓄できる **ローリングストック**を心掛けましょう。



ローリングストック

トイレパックを備えましょう

東日本大震災の際も、トイレは大変大きな問題となりました。発災時、断水や下水管の破損によりトイレが使用できなくなる場合があります。トイレパックは必ず備蓄しておきましょう。

トイレパックの使い方



色のついたビニール袋と凝固剤のセットになっています。

ビニール袋を便座の上から被せて用を足した後、上から凝固剤を振りかけます。

使用後は燃やすごみに出すことができます。

1人あたり5個/日
(3日分で15個)
4人家族だと
60個必要です!

各家庭に合わせて備蓄品を準備しましょう

- カセットコンロ・ガスボンベ(食事やミルクの温め用に)
- おむつ・哺乳瓶・ミルク
- 常備薬 眼鏡 ペット用品 など



詳しくは「みなみ防災ガイド」で確認しましょう。▶

